

地元のしごとを知ろう！

わかる！働く！未来へつなぐジョブフェア 2018 開催！

11月6日(火)、中学生を対象にした「地元企業PRフェア」が総合文化センターで開催されました。

「わかる！働く！未来へつなぐジョブフェア2018」と題されたこの事業は、少子高齢化や人口減少が進み、地元で働く若者が減少している今日、稚内の子どもたちに今のうちから「地元のしごと」を知ってもらうことで、将来の地元就職やUターンにつなげることを目的に、商工会議所青年部、稚内で働こう応援会議、市の共催で今年はいじめて開催されたものです。

建設業や金融業、農業、漁業など様々な業種の市内企業47社が、5つの中学校(稚中、南中、東中、潮見中、宗谷中)の1年生235人に対し、それぞれに工夫を凝らしたブースを設け、自社製品の展示や、紙芝居、映像などを用いて仕事内容をわかりやすく解説しました。

その仕事が身近な生活にどのように関わっているかや働くことの意味、仕事の魅力など熱心な説明を受けた生徒たちもまた、真剣なまなざしで学んでいました。



参加した生徒の皆さんの声

潮見中学校1年 渡邊さん

「自分で見て知っていた職業もあったけど、知らない職業もありました。気づいていないところで役立っていることがわかりすごいなと思いました。私は、人を助けられるような職業に興味があったのですが、今日はそのような職業を見つけられたのでよかったです」



南中学校1年 坂本さん

「実際に仕事をしている人たちから話を聞くことができ色々なことがわかりました。今日は、緑風苑、市立稚内病院、稚内印刷さんのお話を聞きました。このような事業は今後も続けた方が良くと思いました」



稚内中学校1年 古川さん

「知らなかった仕事の内容がわかったり、自分が思っていたのとは違ったりという新しい発見がありました。自分の興味のある職業のブースもありました。将来に生かしたいです」



宗谷中学校1年 木下さん

「どこの会社もお客さんにどう思われるかをしっかり考えていて、様々な工夫をしているんだなあと思いました。中でも建築業の話がよかったです。もし自分が家を建てることになったら、絶対に今日話を聞いた会社で建てたいと思いました」



東中学校1年 杉山さん

「いろいろな仕事について知ることができておもしろかったです。こんなにたくさんのブースがあると思っていませんでしたので驚きました」



「戌年を振り返って」

いよいよ平成30年も年末を迎えました。戌年の今年、年の初めに何を考えたかは忘れてしまいました。3月議会で、当初予算を否決されるという苦境に立ったことは今も鮮明に記憶に残っています。

私にとって2期目の集大成の年でもあり、少子高齢化、人口減少が進み、団塊の世代が後期高齢者になる2020年代を間もなく迎えるという一層厳しさを増す社会にどう立ち向かっていくかの正念場の年だと意気込んで臨んだ議会でした。

残すところわずかとなった平成30年ですが、市制施行70年の節目の年でもあり、次の時代に希望を託す、いくつかの出来事も記憶に残っています。

映画「北の桜守」は、このまちが持つ、特異な歴史を大きくアピールできたと思いますし、9月の「フルマラソン」は、日本中が気候の異常さに悩まされる中、ここだけが感じさせてくれる爽やかさを身をもって体験いただけたのではないのでしょうか。

次の春を迎える頃、私たちは新しい元号に出会います。新しい酒は新しい皮袋がふさわしいと言いますが、これまで培ってきたこのまちの可能性がいよいよ芽を吹き始めようとしています。また、再生可能エネルギーを通じて、このまちは大きく変わります。是非、今に生きるみなさんと一緒に新しい時代を築き上げたいと考えています。

来年も皆さんのご支援をお願いいたします。

稚内市長 工藤 広

こんにちは
市長です。 No.54

